

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

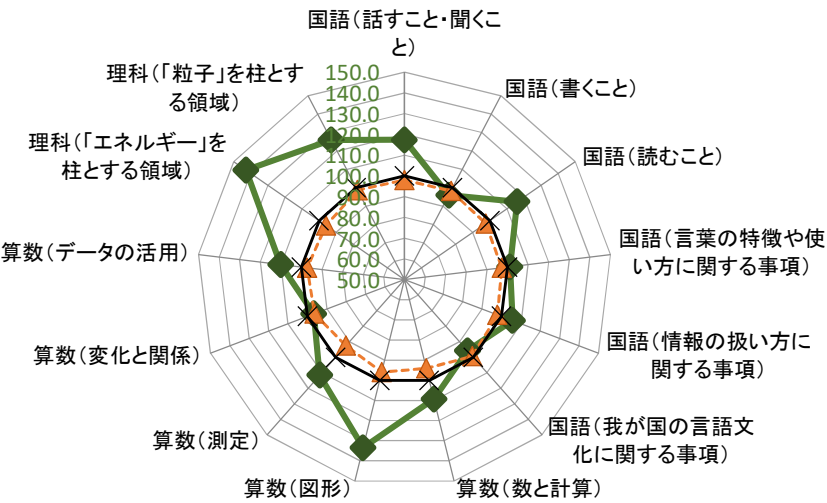
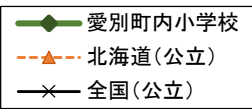
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

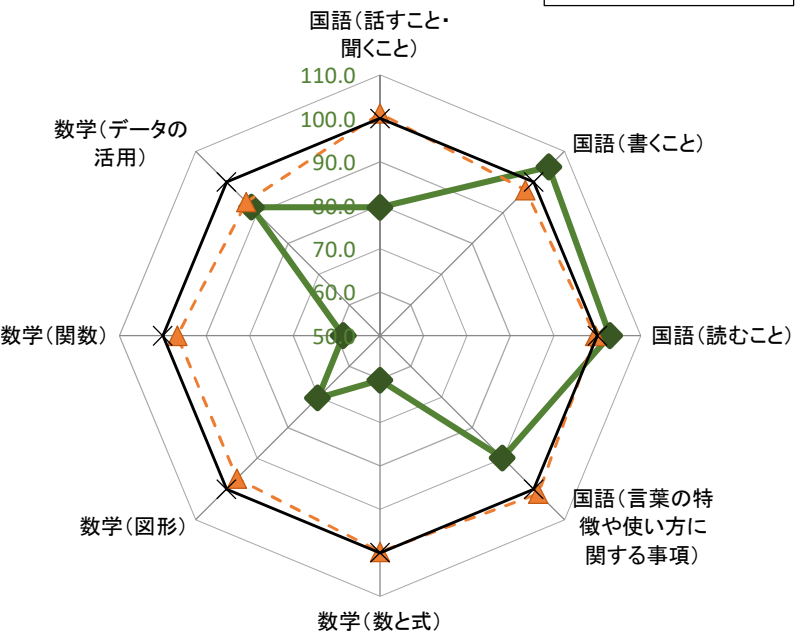
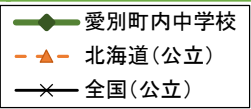
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
愛別町	71	67	73	52	34	435
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



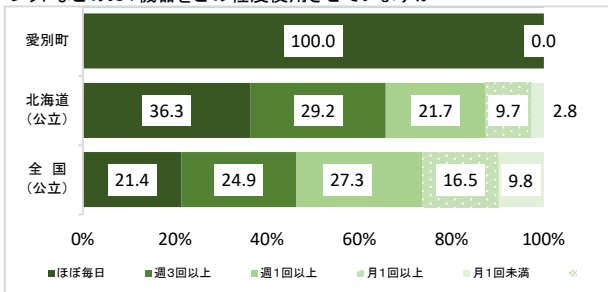
中学校



○ 質問調査の状況

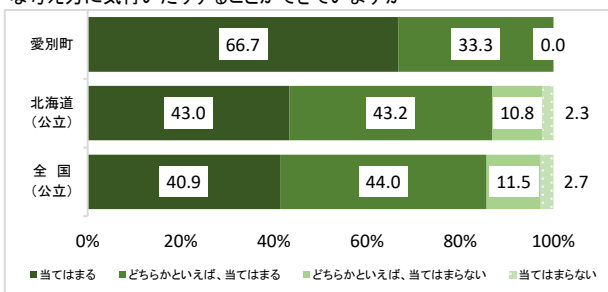
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



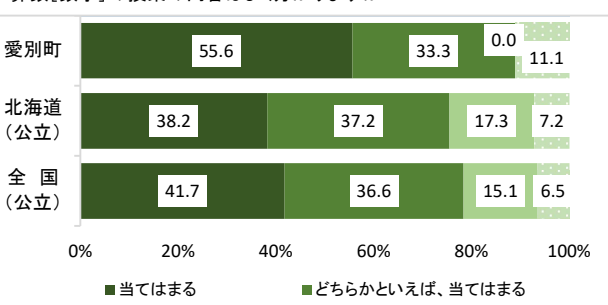
小学校 ＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



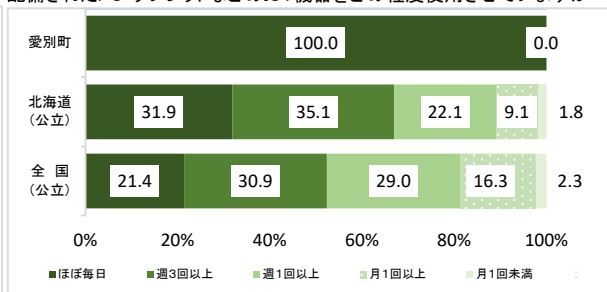
小学校 ＜児童生徒質問＞

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



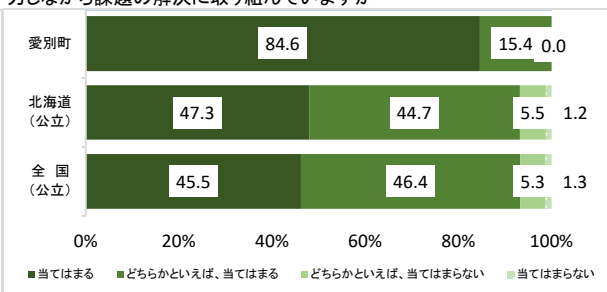
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



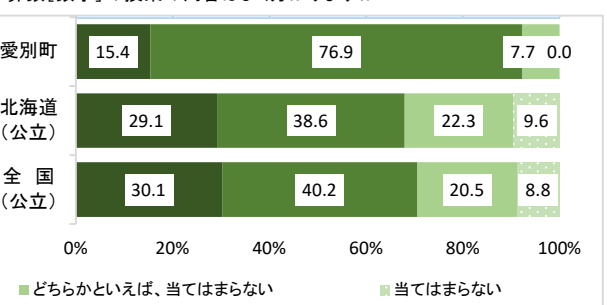
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を毎日使用しているが、学級の友達と話し合う活動も十分行っているため「学級の友達との間で話し合う場を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と回答した児童の割合が全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を毎日活用したことにより、「授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を大きく上回ったと考えられる。

- 中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数[数学]の授業の内容は「よく分かる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒一人一人の学習状況を適切に把握し、個に応じた指導方法の工夫改善を図ることにより、知識・技能の一層の定着を図る取組の推進
- ICT端末を活用した学習支援ソフトによる家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 小学校及び中学校における少人数指導や習熟度別指導（指導方法の工夫改善）の継続